

第3回 臨海部防災拠点マニュアル改訂検討委員会 議事概要
【速報版】

1. 主な議事

- 事務局より、資料1、2を説明した上で、委員による意見交換を行った。

- 臨海部防災拠点マニュアル改訂案に対して委員からいただいた意見に関する修正については委員長一任となった。

2. 主な意見

- マニュアル改訂案P. 38に記載のある関係者の連絡体制網の例は、大規模災害時の混乱の中で、ある連絡系統が途絶した場合には機能しなくなる恐れがある。平時においてはこの図でも良いが、大規模災害時の対応としては連絡体制網を例示するよりも、緊急時の連絡先リスト作成や情報伝達訓練の実施を推奨する方が望ましい。

- 港湾の事業継続計画（港湾BCP）と本マニュアルの内容は重なるところがある。本マニュアルの位置づけや改訂内容等を正しく伝えるためにも、今後、関係者に対してしっかりと説明を行う必要がある。

- 今後、本マニュアルが現場で確実に使われることが重要である。地方整備局や港湾管理者だけでなく、海事関係者などの現場の方々にも本マニュアルを共有していくべき。

（以上）